

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 2000-339929

(43)Date of publication of application : 08.12.2000

(51)Int.Cl.

G11B 27/034

G11B 27/00

(21)Application number : 2000-136804 (71)Applicant : DEUTSCHE THOMSON
BRANDT GMBH

(22)Date of filing : 10.05.2000 (72)Inventor : WINTER MARCO

(30)Priority

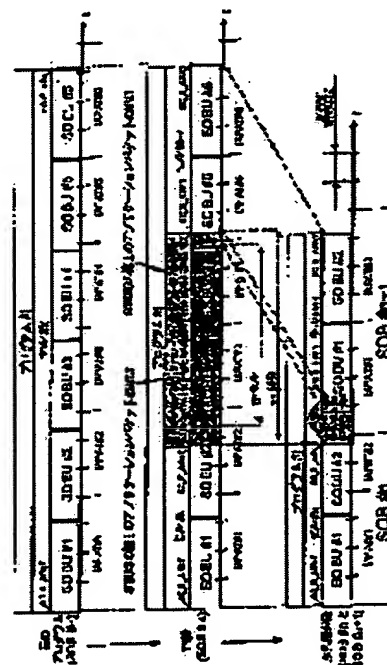
Priority number : 99 99109782 Priority date : 18.05.1999 Priority country : EP

(54) METHOD FOR MARKING DIGITAL DATA

(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To permanently erase data while in action without carrying out a further investigation to a stream by adding two offset values to a cell form flag so as to correctly address a stream object unit(SOBU) which can be completely erased.

SOLUTION: A program #j of an original program has a cell #k consisting of SOBUs #1 to #6. After a TE(temporary erasure), the program #j is marked on the basis of a predetermined parameter whereby a TE part is erased by a user or erased temporarily, and has three cells #k to #k+2. The cells #k and #k+2 can be reproduced. An erasure flag is set to the cell #k+1. A TE cell of the cell #k+1 includes two offset values of TE S OFF and TE E OFF. A correct position of the SOBU can be searched for by the TE S OFF and TE E OFF without a further investigation to a stream.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

Copyright (C); 1998,2003 Japan Patent Office

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開2000-339929

(P 2 0 0 0 - 3 3 9 9 2 9 A)

(43) 公開日 平成12年12月8日 (2000.12.8)

(51) Int. Cl. ⁷	識別記号	F I	テーマコード (参考)
G11B 27/034		G11B 27/02	K
27/00		27/00	D

審査請求 未請求 請求項の数4 O L (全7頁)

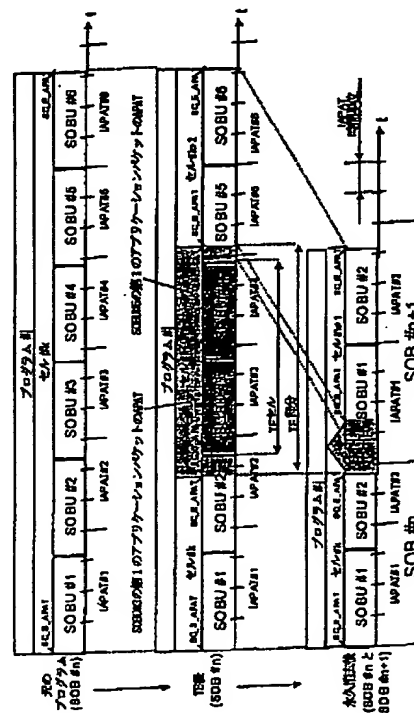
(21) 出願番号	特願2000-136804 (P 2000-136804)	(71) 出願人	595033034 ドイチェ トムソン・ブランド ゲーエム ペーハー Deutsche Thomson-Brandt GmbH ドイツ連邦共和国 デー-78048 ヴィリ ンゲン-シュヴェニンゲン ヘルマン-シ ュヴェアー-シュトラッセ 3
(22) 出願日	平成12年5月10日 (2000.5.10)	(72) 発明者	マルコ ヴィンター ドイツ連邦共和国, 30173 ハノーヴァー , ベーマーシュトラッセ 17
(31) 優先権主張番号	99109782:5	(74) 代理人	100070150 弁理士 伊東 忠彦 (外1名)
(32) 優先日	平成11年5月18日 (1999.5.18)		
(33) 優先権主張国	欧州特許庁 (E P)		

(54) 【発明の名称】 デジタルデータのマーク方法

(57) 【要約】

【課題】 本発明の目的は、ビデオ又は、オーディオ情報を表すデジタルデータストリームのデータのマーク方法を提供することである。

【解決手段】 本発明によれば、一時的に消去され且つ完全に消去されるストリームオブジェクトユニット (S O B U) を正確にアドレスするために、一時的に消去されたフラグと、2つのオフセット値 (T E _ S _ O F F, T E _ E _ O F F) を導入する方法を提案する。ストリームの更なる調査無し、動作中の永久消去又は、高速な永久消去が達成される。優位点として、一時的な消去は、完全に回復もできる。



【0008】どのようなDVDストリーマ装置も、それに接続されているアプリケーション装置と通信する必要がある。この通信は、ストリーマに接続される現在の及び、将来のアプリケーションの可能な範囲を最大とするために、直接的であるべきであり、且つできる限り万能であるべきである。そのような通信をサポートするナビゲーションデータは、ストリーマとアプリケーション装置によって理解できるものでなければならず、以下に、“共通ナビゲーションデータ”と呼ぶ。

【0009】ストリーマ装置は、接続されたアプリケーション装置にどのような望まれる種類の自身のプライベートデータも蓄積することを提供できるべきである。ストリーマは、内容、内部構造又は、この“アプリケーション特定のナビゲーションデータ”の意味を理解する必要はない。

【0010】ナビゲーションデータは、記録、再生及び、記録されたビットストリームの編集を制御するために設けられる。DVDストリーム記録では、ナビゲーションデータは“ストリーマ情報”(STR I)と呼ばれる。STR Iは、6種の情報テーブル、即ち、ストリーマビデオマネージャ情報(SRT_VMG I)、ストリームファイル情報テーブル(SF I T)、元のプログラムチェーン情報(ORG_PGC I)、ユーザ定義のプログラムチェーン情報(UD_PGC I)、テキストデータマネージャ(TXT_DT_MG)及び、アプリケーションプライベートデータマネージャ(APD_MG)より成る。

【0011】ストリームファイル情報テーブルは、記録媒体上のどこにストリームデータが記録されているかの情報を有する。元のPGC情報は、記録された全てのシーンを含む再生リストの機能を有する。シーンは、記録のシーケンス内の開始と終了動作の間に含まれる情報として定義され又は、ORG_PGC Iの1つのプログラムと呼ばれる。更に、ストリームオブジェクト(SOB)は、全てのシーン又は、シーンの部分を含む。両テーブルで、データを再生のために取り出すことができ

る。

【0012】ユーザ定義のPGC情報は、ユーザにより定義された情報を含む。

【0013】更に精密にアドレスするために、プログラムは、1つ又はそれ以上のセルを有する。セルは、ストリームオブジェクトユニット(SOB U)を指し、各SOB Uに対してインクリメンタルアプリケーションパケット到着時間(IAPAT)が割り当てられる。

【0014】本発明によれば、一時的な消去フラグのほかに、SOB Uを示すのに、2つのTEオフセット値が導入され、更なる情報を蓄積するために完全に消去できる。

【0015】完全に消去されることができるSOB Uを正確にアドレスするために、2つのオフセット値(TE_S_OFF及び、TE_E_OFF)がセル形式(C_TY)フラグに付加されねばならない。これらのSOB Uの正確な位置は、ストリームセル開始アプリケーションパケット到着時間(SC_S_APAT)、ストリームセル終了アプリケーションパケット到着時間(SC_E_APAT)、マッピングリスト(MAP L)及び、これらの2つの更なるオフセット値TE_S_OFF、TE_E_OFFにより与えられる。例えば、第1の一時的に消去されたSOB Uの開始の計算は、SC_S_APATとMAP Lを介した粗い位置で開始する。MAP Lを介した検索は、割り当てられたSOB Uの、例えば、SOB U#m又は、SOB U#m+1の、2つの可能な位置の結果となる。正確に画定するために、SC_S_APATがSOB Uの第1のアプリケーションパケットであるか否かで、MAP Lを介した検索の粗い結果に対する、望むSOB Uの位置を捜すために、オフセット値TE_S_OFFは、値が0、1又は、2の必要とする更なるオフセットを有する。

【0016】本発明によるC_TYバイトの構造は以下の様である。

【0017】

【表1】

b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0
C_TY1				TE		TE_S_OFF	
						TE_E_OFF	

C_TY1...全てのストリームセルに対して'01 0b'である。

TE... '0b' : このセルは“通常”の状態である。TE_S_OFFとTE_E_OFFは'00b'に設定されねばならない。

【0018】'1b' : このセルは“一時的に消去された”状態である。

TE_S_OFF... '00b'、'01b'、'10b' : 第1のTE SOB Uは、MAP Lを介したSC_S_APATから計算されたSOB U番号よりも後のTE_S_OFF SOB Uを開始する。

【0019】'11b' : 予約。

TE_E_OFF... '00b'、'01b'、'10b' : TEセルの最後のTE SOB Uの後の第1のSOB UのSOB U番号は、MAP Lを介してSC_E_APATから計算されたSOB U番号よりも後のTE_E_OFF SOB Uを開始する。

【0020】'11b' : 予約。

【0021】

【発明の実施の形態】以下に、本発明の実施例を詳細に説明する。

【0022】図1は、一時的に消去された部分の、後に

永久消去される一時的な消去を示す。

【0023】図2は、一時的に消去された部分の後に続いて第2の一時的な消去される一時的な消去を示す。

【0024】灰色の部分は、ストリームの表示されないTE部分をマークする。濃い灰色部分は、一時的に消去された完全なSOBUをマークする。

【0025】図1においては、SOBUレベルから見たTE及び永久消去が示される。”元のプログラム”とラベルが付されている図の上方部分には、プログラム#jは、1つのSC_S_APATと1つのSC_E_APATとを有する1つのセル#kを有する。セル#kはSOBU#1からSOBU#6の幾つかのSOBUを有する。各SOBUに対して、インクリメンタルアプリケーションパケット到着時間(IAPAT)が割り当てられている。

【0026】”TE後”とラベルが付された中段の部分では、プログラム#jの灰色のマークされた部分は、例えば、ユーザにより又は、一時的に消去される所定のパラメータに基づいて、マークされる。プログラム#jは、セル#kからセル#k+2の3つのセルを有する。セル#kとセル#k+2は、再生できる。一方セル#k+1には消去フラグが設定されている。セル#k+1は、消去されることが決定された灰色のTE部分と、後の記録で使用され得る濃い灰色の小さなTEセルを有する。

【0027】セル#kに対しては、新たなSC_E_APATが割り当てられ、又、セル#k+2に対しては、新たなSC_S_APATが割り当てられる。セル#k+1に対しては、新たなSC_S_APATと新たなSC_E_APATが割り当てられる。セル#k+1のSC_S_APATは、セル#kのSC_E_APATよりも小さく、そして、セル#k+1のSC_E_APATは、セル#k+2のSC_S_APATよりも小さい。

【0028】”永久消去後”とラベルが付された下段の部分では、プログラム#jは、セル#kとセル#k+1(前のセル#k+2)の2つのセルのみを有し、前のセル#k+1のTEセルは消去された。

【0029】各セル#kとセル#k+1のSOBUは、再度番号が付され、IAPATが割り当てられる。この例に示されるように、灰色にマークされた小領域は、ビットストリーム中に残り、更なるデータの記録には使用できない。

【0030】永久消去後、ストリームファイル情報、元のPGC情報及び、ユーザ定義のPGC情報は更新される。

【0031】記録中のTEセルの再利用。

【0032】TEセルは、2つのオフセット値:TE_S_OFFとTE_E_OFFを含む。これらの2つのオフセットの実際の意図は、記録中にTE SOBUの

再利用を可能とすることである。即ち、記録中にディスクが一杯になったときに、ストリーマは、中断無しに記録を継続するために新たな開放されたSOBUを得るために、TEセルを永久に消去できる。TEセルのAPAT SC_S_APATとSC_E_APATは、この目的には充分ではない。なぜなら、MAPLを介した検索は、割り当てられたSOBU(SOBU#m又は、SOBU#m+1)の2つの可能な位置となるからである。MAPLを介した検索は、ストリーム内の更なる検索を必要とする。これは実時間では可能でない。しかし、TE_S_OFFとTE_E_OFFによって、ストリームの更なる調査無しに、SOBU位置の正確な位置を探ることができる。

TEセルの規則

TEセルに蓄積された情報は、次の様に定義される。

- ・プログラム元の状態が100%再構成でき、且つ
- ・完全にカバーされたSOBUは、TE部分により、示される。これは、記録中にTE部分の完全なSOBUを再利用、即ちストリームの更なる調査無しに、できるためには必要である。

【0033】これは、C_TYのTE_S_OFFとTE_E_OFFによって、行われる。2つの位置は、これらの値により定義される:

1. TE_S_SOBU=TE_S_OFF + (MAPLを介してSC_S_APATから得られたSOBU番号)

2. TE_E_SOBU=TE_E_OFF + (MAPLを介してSC_E_APATから得られたSOBU番号)

MAPLを介してSC_S_APATから得られたSOBU番号'は、APAT=SC_S_APATを伴うアプリケーションパケットを有するSOBU又は、マッピングリスト分解能IAPATによる前のSOBUの番号である。それゆえ、TE_S_OFFとTE_E_OFFの正確な組は、ストリームの調査を必要とする。

【0034】TE_S_OFFは、TE_S_SOBUが以下の規則を満たすように選択されるべきである。

1. SC_S_APATがSOBUの第1のアプリケーションパケット又は、TEセルがSOBの開始を含む場合には、TE_S_SOBUは、APAT SC_S_APATを伴うアプリケーションパケットを有するSOBUの番号である。

2. 全ての他の場合には、TE_S_SOBUは、APAT SC_S_APATを伴うアプリケーションパケットを有するSOBUのすぐ後に続くそのSOBUのSOBU番号と等しい。

3. TE_S_SOBUは、その開始に対してSOBのSOBUをアドレスする。即ち、TE_S_SOBU=1は、SOBの第1のSOBUに位置する。

【0035】TE_E_OFFは、TE_E_SOBU

が以下の規則を満たすように選択されるべきである。

1. TE_E_SOB Uは、TEセルにすぐに続くアプリケーションパケットを有するSOBUのSOBU番号と等しい。

2. TE_E_SOB Uは、その開始に対してSOBのSOBUをアドレスする。即ち、TE_E_SOB U=1は、SOBの第1のSOBUに位置する。

【0036】TE_E_SOB Uは、TEセル又はSOBの最後のSOBU後に、SOBUの最後のアプリケーションパケットが、一時的に消去された場合のSOBU 10を示し得る。

【0037】TEセルのTE_S_SOB UとTE_E_SOB Uの3つの可能な場合：

1) TE_S_SOB U < TE_E_SOB U

このTEセルのTE部分の内側に少なくとも1つの完全なSOBUが存在する。このTEセルの全ての完全なSOBUは、例えば、記録中に、永久に消去される。

2) TE_S_SOB U = TE_E_SOB U

TEセルの内側に完全なSOBUは無い。しかし、TE

b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0
C_TY1				予約	TE_S_OFF		TE_E_OFF

C_TY1... 全てのストリームセルに対して'010b'である。

TE_S_OFF... '00b' : 通常のセルを表す。(TE_E_OFFも'00b'でなければならない。)

... '01b'、'10b'、'11b' : 第1のTESOB Uは、MAPLを介したSC_S_APATから計算されたSOBU番号よりも後の (TE_S_OFF-1) SOBUを開始する。 30

TE_E_OFF... '00b' : 通常のセルを表す。(TE_S_OFFも'00b'でなければならない。)

... '01b'、'10b'、'11b' : TEセルの最後のTE SOBUの後の第1のSOBUのSOBU番号は、MAPLを介したSC_E_APATから計算されたSOBU番号よりも後の (TE_E_OFF-1) SOBUを開始する。

【0040】一時的に消去されたセルから通常のセルを 40 区別するために、ノーマルセルの場合には、C_TY [3..0] = 0、その多の場合にはTEセルである。

【0041】この定義により、TEセルも明白に記述される。一方、C_TYのビット4は他の目的のために空

セルは2つのSOBU内にアプリケーションパケットを有する。永久消去は、これらの2つのSOBUの間の割り当てられたSOBを2つのSOBへ分割する。即ち2つのSOBは、どのSOBUも共有しない。

3) TE_S_SOB U > TE_E_SOB U

TEセルの内側に完全なSOBUは無い。TEセルは1SOBU内のみアプリケーションパケットを有する。永久消去は、1つのSOBU内の割り当てられたSOBを2つのSOBへ分割する。即ち結果の2つのSOBは、共通のSOBUを共有する。

【0038】それにより、各状態は明白であり、ストリーム内のセルの位置についての多くの情報を有する。

代替りの解決方法

C_TYは、次のような別のフォーマットで記述できる。

(1) C_TY

このストリームセルのセル形式を記載する。

【0039】

【表2】

b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0
C_TY1				予約	TE_S_OFF		TE_E_OFF

いている。

【0042】

【発明の効果】本発明により、ストリームの更なる調査無し、動作中の永久消去又は、高速な永久消去が達成される。

【図面の簡単な説明】

【図1】一時的な消去と、続く永久の消去を示す図である。

【図2】TEと、続く更なるTEと、第1のTEセルの再構成を示す図である。

【符号の説明】

VOBU ビデオオブジェクトユニット

SOBU ストリームオブジェクトユニット

IAPAT インクリメンタルアプリケーションパケット到着時間

TE_S_OFF、TE_E_OFF オフセット値

SC_S_APAT ストリームセル開始アプリケーションパケット到着時間

SC_E_APAT ストリームセル終了アプリケーションパケット到着時間

MAPL マッピングリスト

【図2】

